

2018

JAしまねびより

9

September Vol.30

特集

島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米」 隠岐地区本部



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



【隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米】

9月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で島の香り隠岐藻塩米（以下、「藻塩米」）の生産に取り組む、生産部会長の村上淳一部会長、藻塩を作っている野津勝友さん、お二人にお話を伺ってきました。



藻塩米作りに欠かせずことのできない久見地区の藻塩。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。
 毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



ミネラルをたっぷり吸収することで、稲も丈夫に育つそうです。



お話を伺った、藻塩米生産部会長の村上さん。

藻塩米とは、どのようなお米ですか？
 島の特色を生かした製法で作る特別栽培米（減農薬、減化学肥料）で、穂が出てから収穫までの間に藻塩の水溶液を散布して栽培します。海藻を田んぼに肥料として播（ま）いていた伝統農法を現代版にアレンジして作り始めました。日本では珍しいアルカリ岩から構成する島のキメ細かい土は、マグネシウムが県内の平均より1.5倍前後多いとされています。さらに藻塩を薄めた水溶液を散布することで極限までストレスをかけ、ミネラル成分を根と葉からたっぷり吸収し、養分を蓄えることで美味しいお米ができます。平成15年に試験栽培を始め、今年で16年



加工場にある4基の釜で、塩を炊き上げる。



自然豊かな久見地区の天然資源を有効活用し、藻塩作りが行われていました。

藻塩自体はどのように作るのですか？
 米作りに欠かせない藻塩は、海藻アラメと島の綺麗な海水を煮詰めて作っています。隠岐の島北西部の久見地区、吉浦海岸付近で潮の流れなどの状況を見ながら、一番透き通っている海水を一度に400ℓ汲み、海岸近くの加工場の釜で煮立てます。海藻アラメも近くの岩場から採ってきます。海水とアラメは、別々の釜で煮詰め、不純物を何度も濾（こ）して純度を上げ、最後の工程目になりました。特選以上はおもに関東・関西・中京方面を中心に出荷しています。おかげさまで、米専門店などから高い評価をいただいています。



お話を伺った野津さん。関係者は「藻塩仙人」と呼び、そのこだわりに感謝していらっしゃいました。

で海水だけのものと、アラメを煮た濃い赤茶色の海水とを合わせて、さらに煮詰めていきます。約3日間煮込んで、下に塩がとどっているのをすくい、乾燥させてようやく藻塩が完成します。この全工程で約1週間から10日かかります。1トンの海水から作れる量は20〜25kgとわずかですが丁寧にじっくり、こだわりの濃い色からも分かるように海藻のミネラルがたっぷり入って



久見地区の藻塩の特徴でもある赤茶色は、天然のアラメを炊き出した天然ミネラルたっぷりの証。



15年の努力とこだわりが、これからの礎となる。

最初の10年は、生産者全員の意識を統一するまで試行錯誤が長く続きました。日本のトップブランドがどのような戦略で生産販売しているのかを学んだ上で差別化を図り、なんとかしなければならぬと常に考えていました。きっかけは10年経った頃に大きなメディアに取り上げられたことでした。新米は10月から販売が始まりますが、その年は注文が殺到。年内には売り切れ一時は入手困難なお米と騒がれたほどでした。このことで今までは出荷して終わりという感覚でしたが、その先に

藻塩米のブランド化を進めた15年を振り返ってどのように感じられますか？

おり、島独自の特産品として「藻塩」として販売しています。



久見地区の藻塩はお土産としても隠岐の島を代表する商品に。

いる日本の消費者をこれまで以上に意識するようになりました。島の地の利を生かした他では真似できないこだわりや美味しさがきちんと伝われば食べてみたいと思う消費者はたくさんいると実感しました。そこで一から体制を見直し、島内どの生産者のお米でも同じ品質になるよう、栽培マニュアルを細かく作成。土壌分析を行い、生産者への個人面談による土の成分の統一化、生産者全員によるほ場巡回、フェイスブックによる情報発信など、意識の統一による品質の統一への取り組みを精力的に行いました。ここ5年でブランド



一粒一粒へのこだわりが、ブランド米としての品質と魅力、そして成果へとつながる。

島の香り隠岐藻塩米 一口メモ

藻塩米は「島の香り隠岐藻塩米コシヒカリ（きぬむすめ）」として、平成30年度の島根県米づくり重点推進事項のこだわり米部門の一つとして位置づけられている。一般、特選、ジオパーク米（特選）と3つの等級があり、特選以上は整粒（病虫害の被害の無い完全粒）歩合が80%以上。農薬・化学肥料は特選が5割、ジオパーク米は7割減らし、特徴あるブランド米として全国的にも認知度が上がり人気が高まっている。5年前の平成25年度は16人計26ヘクタールで生産していたが、平成30年では18人が計40ヘクタールの面積で生産に取り組んでいる。



でも同じ味になるよう品質の味が進んでいるのは、何よりも味が美しく、また誰のお米でも同じ味になるよう品質の

ブランド化が進んでいる理由や今後の展望など教えてください。

化は順調に進み、高い評価をいただいています。今後は消費者を飽きさせない取り組みが必要と考えています。「コシヒカリ」に加えて「きぬむすめ」での栽培を平成28年から開始。あっさりとした食感を好む比較的若い世代向けとして、新たなターゲットの開拓を行なっています。



「強固なブランド」を見据え、生産部会とJA、そして様々な関連機関と連携。「次の手」に余念がない。

統一を図ることで、消費者の信頼を得られたからだと考えています。これまではミネラルを大きなPRポイントの一つとしていましたが、現在は島根大学等と米の成分の特徴について産学連携での共同研究を行なっています。例えばアミノ酸や葉酸など、ミネラル以外の成分をデータ分析し健康機能性の観点からも何か特徴があるのではないかと検証を進めています。現状に満足せず、毎年マイナーチェンジを繰り返しながら消費者に長く愛されるブランド米作りを続けていこうと考えています。

チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3力年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAしまね 組合員アンケート調査結果について ～組合員のみなさまへ～

当JAが取り組む「自己改革」の一環として、組合員の方々からJAしまねへの評価を認識するとともに、多様化する組合員の皆さまを類型化し、それぞれのニーズやJAとのつながり等を「見える化」することにより、組合員・地域住民から必要とされ、組合員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指すため、JA全中を中心に開発された「組合員アンケート」を活用し、JAしまね独自質問項目を含めたアンケート調査を実施いたしました。その調査結果をご報告します。

JAしまね 組合員アンケート調査概況

1. 実査日程 平成29年12月15日～12月29日
質問項目 正組合員 28項目（JAしまね独自項目2項目）
准組合員 29項目（JAしまね独自項目2項目）
2. 調査対象者 正組合員 2,000名（無作為抽出）
准組合員 4,000名（無作為抽出）
3. 調査票回答者 正組合員 975名（回収率48.8%）
准組合員 1,281名（回収率32.2%）
4. 調査票回答者

JAしまね 組合員アンケート全国共通設問結果（概要）

正組合員	准組合員
最も期待しているのは「農」	最も期待しているのは「食」
地域農業の振興 担い手経営支援 農地の保全	安心できる農産物・食料品の提供

今後、正組合員の期待「農」に応える事業運営に注力し、准組合員の期待「食」に一定応える事業運営がなされているとの評価を受け止め、引き続き、「食」と「農」を基軸とした地域に根ざした協同組合をめざし、一層の役割発揮に努めます。

2. JAしまねの強み・弱み（概要）

- 【JAしまねの強み】
- ▽正・准組合員の「事業利用」が全国平均を上回る。
 - ▽准組合員の「活動参加」が全国平均を上回る。
- 【JAしまねの弱み】
- ▽正・准組合員の「意識点」（親しみ・必要性・理解）が全国平均をわずかに下回る。
 - ▽正組合員の「活動参加」・「組合員組織加入」が全国平均を下回る。

〈分析と対応〉

○JAしまねの強みとしては、正・准組合員ともに「営農」「信用・共済」「生活」の「事業利用」が、いずれも全国平均以上となっており、事業の複合利用率も全国平均を上回っている。

○准組合員では、生活店舗（Aコープ・ラピタ等）を准組合員の55%が月に複数回以上利用するなど、生活事業の利用頻度が高く、また加入きっかけの10%を総合ポイントが占めるなど、総合ポイント効果を発揮している。

↓JAの総合事業をよくご利用いただいていることは、当JAの強みであることから、アンケート結果を参考に性別・年齢別等のニーズをふまえた事業利用の拡大に取り組んでまいります。

○准組合員の「活動参加」は全国平均を上回り、「農業まつり・JAまつり」に41%が参加するほか「支店での各種イベント」「JAの直売所での各種イベント」への参加率が20%以上と、准組合員として一定高い水準にある。

↓JAしまねは、准組合員数が総組合員数の72%と大きな割合を占めていることも踏まえ、引き続き准組合員の接点づくりに取り組みます。

具体的には、JAしまねのイベントや各種講座・料理教室などにご参加いただき、JAの活動を通じてJAに親しみ・必要性を持っていただけるよう努めます。

○JAしまねの弱みとしては、正・准組合員ともにJAに対する親しみ・必要性・理解等の「意識点」が全国平均をわずかに下回る。

↓JAの取り組み理解に向けて、広報誌「しまねびより」や支店だより・ホームページの内容充実・活用に努め、また、マスメディアも活用し、地域農業やJAの取り組み等について、一層の情報発信に努めます。

↓准組合員の「食べて応援」「作って応援」の拡大により、意識点の向上が期待できることから、

直売所や生活店舗などを活用した「食」の取り組みや、若い年齢層に向けて、農業体験などの「農」の取り組みを展開していきます。

○特に販売額が1,000万円以上の担い手経営体と、回答数の3割以上を占める販売のない多様な担い手は、JAへの理解や親しみ度とともに事業利用率も低い水準にあり、担い手経営体の25%は、営農関連事業を利用していない。

↓「担い手経営体」「販売のない多様な担い手」については、アプローチを強化し、それぞれのニーズをふまえた営農関連事業の利用促進に努め、総代会・集落座談会などの意思反映の場への参加促進を図るなど、取り組みを強化します。

○正組合員は、農業まつり・JAまつりなどの「活動参加」が全国平均を下回り、特に「男性・64歳以下」「女性・50～64歳」で活動参加が低い。

○正組合員は「集落単位の組織」「営農組合等」を中心に組合員組織への参加がみられるものの、青年連盟や各種野菜部会等の組合員組織への参加率は全国平均を下回っている。

↓組合員類型・性別・年代別等の分類によるアンケート分析をもとに、それぞれのニーズをふまえた活動の企画・実践、呼びかけを通じて、活動参加促進に取り組み、JAへの「意識点」を高め、組合員組織加入・意思反映の場への参加・事業利用につなげていきます。

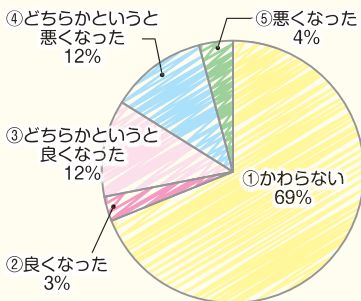
↓「組合員組織加入」は、「意思反映」「運営参画」の向上にもつながる重要な要素であることから、既存の組合員組織における組合員のニーズをふまえた内容の拡充や加入促進など、一層の組合員組織の活性化に取り組みます。

以上のほかにも、多角的な分析を行っており、組合員の評価・意向を踏まえたJA運営に活用して参ります。今後も継続的に、このようなアンケート等を行ってまいります。

JAしまね 組合員アンケート個別設問集計結果

【設問1】JAをご利用いただく上で、新JA発足前と変わったと感ずることがありますか？

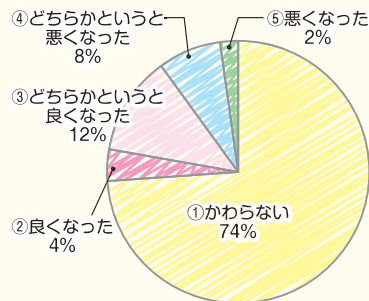
(1) 正組合員



＜主なご意見＞

- ・地元の職員（顔なじみ）がいなくなり、親しみが感じられない。
- ・人事異動により、担当職員が度々替わり、相談もしにくい。
- ・JAが統合し、JAが遠くなり、自分たちのJA意識がなくなってきた。
- ・職員の対応が親切・丁寧、挨拶もよい。

(2) 准組合員

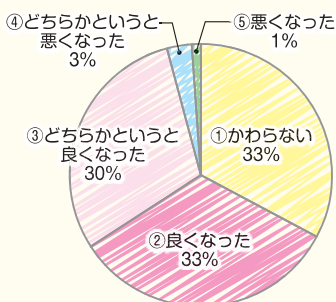


＜主なご意見＞

- ・地元の職員がいなくなり、親近感がなく、職員に相談しにくい。
- ・統合し、地域の地域特性がなくなり、地域密着イメージが薄れた。
- ・統合メリットを感じる。（貯金手続き、ポイント、県内一体感など）
- ・職員の対応がよく、明るくなった。

【設問2】職員の態度、対応の様子等についてはどうですか？

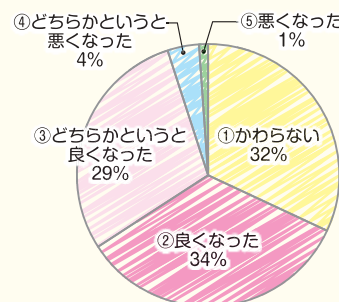
(1) 正組合員



＜主なご意見＞

- ・対応が丁寧、親切。
- ・対応がスムーズ。
- ・身近な職員が少なくなつた。

(2) 准組合員



＜主なご意見＞

- ・挨拶、笑顔が良い。
- ・親切、丁寧。
- ・職員によって対応が違う。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

出雲市 エドガー・ピミアント・チャモロウさん (53)



エドガー・ピミアント・チャモロウさんは、出雲市大社町でシャインマスカットを30アール栽培しています。出身はコンビアで、15年前に来日。地質調査や防災関係の仕事をしていましたが、区切りがついた6年前、周囲からの勧めもあって就農を決意しました。大社町のぶどう農家での研修、出雲市のアグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を経て、平成25年に認定新規就農者となりました。

エドガーさんがJAしまね農業振興支援事業を活用して導入したのは、薬剤散布に使う動力噴霧器です。就農当初は若木が多く使用頻度が低かったため、研修先のぶどう農家から借りたりしていましたが、成木になって防除回数や散布量も多くなってきたため平成29年度事業を活用して導入しました。適期防除を徹底することで品質向上にもつながり、昨年と比べても良いものが増えているといえます。化粧箱での出荷も増えてきました。

エドガーさんは「皆さんに喜んでもらえるような高品質なシャインマスカットを作り、所得向上にもつなげていきたい」と意欲を話してくださいました。



理事会情報 (7月30日開催)

協議事項

- ①平成31年度島根県農業政策および予算に関する要望について
- ②7月豪雨による農業被害状況および「平成30年7月豪雨に伴う農業被害復興対策支援要領」の設定について
- ③平成30年産島根米の生産者からの買入れ手法について
- ④平成29年度期末決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見書)への回答について
- ⑤平成29年度JA全国監査機構決算監査内部統制等に関する改善指示事項の回答について
- ⑥株式会社JA江津葬祭会館の設立および役員派遣について
- ⑦新たなテレビ会議システムの導入について
- ⑧土地の取得について
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩新たな運営体制および役員定数と地区本部運営委員会の再構築と強化(各総代との協議資料)について
- ⑪臨時総代会の日程および会場について
- ⑫人事ローテーションに関する基本的な考え方について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

地区本部トピックス

雲南

子ども料理教室「かもこ塾kids+」 地元団体らが協力し初開催

雲南市の加茂町総合保健福祉センターかもてらすで8月6日、地元小学生を対象とした料理教室「かもこ塾kids+」が開催されました。(株)キラキラ雲南(雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会)が企画する「うんなん元気っ子わくわく教室」の一環で、加茂まちづくり協議会、JAしまね雲南女性部の3者が協力し、初の開催となりました。

今まで小学生を対象とした料理教室は、スタッフの確保や指導者の手配に課題があり開催を見合わせていましたが、活動の輪を広げようと他団体との関係強化を図っている雲南女性部と同協議会が力を合わせることで実現しました。

当日は市内在住の小学生20人が参加し、講師の森山茜さんや雲南女性部加茂支部員の指導のもと、本格的なピザ生地作りや地元野菜を使ったサラダなど5品を作り上げました。雲南女性部の事務局は「団体ごとに得意とする分野があるはず。協力し、地域が活気づくようなイベントができれば嬉しい」と笑顔で話します。



スタッフはできるだけ手を出さず、子ども達は積極的に取り組みました。

くにびき

生産者の顔が見える笑顔のマーケット! 水辺の朝市夏のイベント開催

水辺の朝市連絡協議会(山根茂会長)は8月12日、松江市役所駐車場で、水辺の朝市夏のイベントを開催し、多くの人で賑いました。

同協議会は、29組の地元農家や生産グループで構成。毎週日曜日の朝に同所で開催しています。地場産の新鮮な野菜や花を持ち寄り販売し、利用者からは、生産者の顔が見えるので安心して買えると好評を得ています。お盆の8月と年末の12月には品数を増やして開催。

当日は、開催時間の朝7時よりも前から長蛇の列ができ、開始の合図とともに、目当てのケイトウ、菊などの盆用の花やトマト、ブドウなど旬の農産物を買求めています。また、先着150名へ、きぬむすめ2合入袋を進呈する企画もあり、大勢の来場者で賑いました。

山根会長は「高温続きで苦労しているが、生産者の努力でよい商品が並んだ。今後も愛される朝市を目指したい」と意気込みを語りました。



隠岐

エコライフ運動として 「みどりのカーテン」活動を実施中

JAしまねでは、JAしまね女性組織との統一活動として、「大きなあれ!環境にやさしい心と食への感謝」を統一スローガンに「みどりのカーテン」に取り組み、見た目にも涼やかに消費電力削減に努め、併せて取り組みが広がるよう、地域の方々へエコライフ活動のPRをしています。今年度、隠岐地区本部では4支店の軒下で「ゴーヤ」と「朝顔」をプランター栽培し、植物で作るカーテンにより室内温度の上昇を抑える活動を行っています。実施している4支店の内1支店は、葉を青々とさせ大きな日陰を作ることが出来ました。3支店では、朝顔の芽出しが上手くいかず断念をしたり、ゴーヤの葉が思うように広がらなかったりしましたが、来年以降も継続して取り組みを行いたいと思います。



やすぎ

米粉でピザ作り!

やすぎ地区本部は8月8日に、広瀬こクラブの児童たち27人と米粉を使ったピザ作りを行いました。児童たちは米粉と豆腐をこねた生地をカップに伸ばし、ピーマンやトマト、ナス、タマネギ等の地元野菜とチーズやベーコンなどを盛りつけました。焼き上がったピザは熱く、児童たちはふうふうしながら昼食に味わいました。

またピザを焼いている間に、JA職員による家の光雑誌のちゃぐりん8月号を使った農業に関するクイズを行い、児童たちは知らなかった農業の知識を学びました。

児童たちは「ピザ作りは簡単で、米粉でも美味しかったです」「クイズは難しかったけど、楽しかった」と感想を言いました。



完成した米粉ピザ



ピザを食べている様子

斐川

あぐり探検隊 夏野菜収穫、調理体験！

8月5日、JAしまね斐川地区本部と出雲市は町内の小学生3～6年生を対象に、農業体験企画「第3回あぐり探検隊」を開き、隊員15人と保護者が参加しました。5月に植えたキュウリ、ミニトマト、ナスなど6種類の夏野菜を収穫し、講師に料理工房「創」店主の周藤明美さんを招き、同JA斐川女性部協力のもと、夏野菜をふんだんに使った「ラタトゥイユ」「ラップソーセージドッグ」「フルーツポンチ」の3品を完成させ、昼食として味わいました。3回目ともなると、隊員同士顔馴染みも増え、協力しながら収穫したり、教えあいながら調理する姿が見られました。参加した保護者からは「家には畑が無いので、親子で農作業体験ができるのは嬉しい経験」といった声が聞かれました。次回は9月に稲の収穫作業を行う予定です。



ナスを収穫！！



周藤さんに野菜の切り方を教わりました

隠岐 どうぜん

景勝地国賀・摩天崖で 草を食む放牧馬

隠岐国賀といえばすぐに頭に浮かぶものの一つに、牛馬が草を食む風景があります。隠岐諸島にはかつて臥体の小さい隠岐在来の固有種「隠岐馬」が生存していたことや、島前地域においては戦前より軍用馬を供給していたことなどから、馬の飼養が盛んに行われていた時代がありました。戦後は肉用馬生産と農耕、材木の搬出作業を絡めて飼養していましたが、昭和40年代の全国離島ブームの到来により、観光客で島が沸き返り、観光資源としての価値がクローズアップされたこともありました。年間放牧が可能で飼養手間が比較的掛からない利点がある一方で、人工授精が普及しておらず妊娠期間が約1年と長い割に、市場価格が牛に比べ格段に安かったため次第に頭数が減少、このため、西ノ島町は町有馬の貸付制度などJAとの連携による頭数維持施策を講じてきましたが、ここに来て価格の高騰に反して飼養農家の高齢化が最大の問題になりつつあります。とはいえ、隠岐の絵になる風景として大事に引き継いでいきたいものです。



石見銀山

天領さん正調踊り

JAしまね石見銀山女性部とJA石見銀山地区本部職員31人が8月5日に、大田市で開かれた祭「第38回天領さん」の正調踊り部門に出場しました。

揃いの浴衣、JAロゴ入り法被を身に付け、心を一つにし、一糸乱れぬ踊りを披露しました。

JAでは、女性部と職員が合同で毎年地域の祭りに参加し、地域振興に取り組んでいます。9月15日には、運動会を共催し、組織の基盤強化に取り組む予定です。



出雲

「第13回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA職員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第13回出雲神話まつり」が8月11、12日の両日開かれ、11日の「出雲盆踊り」にJAしまね出雲地区本部の若手職員が参加しました。今年は入組1・2年目の職員15人が参加。色鮮やかなそろいの浴衣を着て、踊りながら今市町のくまびき中央通りを練り歩きました。

「出雲盆踊り」には、同JA女性部の荒茅支部の部員も参加するなど36団体、約1,000人が参加しました。団体ごとに衣装を揃え、市内各地区の特色を盛り込んだ唄に合わせて踊り歩き観客を楽しませました。

12日には大津神立河川敷公園で花火大会も行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

匹見町でちゃぐりんフェスタ開催

JAしまね西いわみ女性部匹見支部（支部長村田幸枝）は8月3日、益田市匹見町で「ちゃぐりんフェスタ」を開きました。

同町匹見地区振興センターを会場に、町内外から参加した児童ら12名が料理や工作を楽しみました。

当日は、女性部員が料理の講師役となり、児童らと一緒に「ちゃぐりん」掲載レシピの中から夏野菜を使った「トマト丸ごと炊き込みごはん」など5品を調理しました。

午後からは保護者やJA担当者が講師役となり、「空きカンの魚つり」と「ペットボトル空気砲」を作って遊びました。

「ちゃぐりん」は家の光協会が発行する子供向け月刊誌で、毎月料理や工作の紹介のほか、農業や食に関する話題を載せています。

参加した児童の一人は「友達も出れて、とても楽しかった。また参加したい」と喜びました。



島根おおち

羽須美支店ミニ来店感謝DAY

島根おおち地区本部羽須美支店では、8月10日(金)、2ヶ月に一度の羽須美支店お客様ミニ感謝デーを開催しました。今回はご来店頂いた方に、みどりのカーテンの取り組みとして育てたネットメロン「ころたん」の試食と、ケイトウの花のプレゼントを行いました。この「ころたん」は、手のひらサイズでさわやかな甘みが特徴のかわいらしいメロンですが、写真の様な栽培をしたため「マスクをかけて育てている面白いメロンがある！」と、地元のケーブルテレビでも紹介されました。「ころたん」の試食は、植え付け当初から成長を見守ってくださった方々も楽しみにされていたようで、当日はたくさんの方にご来店頂き、「ちゃんとメロンの味がするね」「甘くておいしい！」と好評でした。ケイトウは、赤・ピンク・オレンジの花を用意し、お盆前ということもありとても喜んで頂けました。

島根おおち地区本部では他の支店でも、様々な植物を育てる取り組みを行っています。



実の保護のためマスクを付けた「ころたん」

本店

TAC活動発表大会

くにびき地区本部の片寄職員が最優秀賞

JA全農、同鳥取県本部、JAしまねは8月21日、「平成30年度山陰ブロックTACパワーアップ大会～TAC活動発表大会～」を出雲市のラピタ本店で開催しました。

JAしまね各地区本部の地域農業の担い手に向くJA担当者（愛称TAC＝タック）25人が取組事例を発表し、「トロ箱ミニトマトの共販出荷による収益性の向上」と題して発表した、くにびき地区本部の片寄俊一職員が最優秀賞を受賞しました。

この大会は、担い手の手取り最大化支援、地域生産振興支援など優れたTAC活動を共有化するとともに、参加者間で面的展開に向けて検討をすることを目的としています。

最優秀賞の片寄職員は、「ミニトマトの市場単価が低く、出荷しても雑に扱われているように感じてしまう」という担い手の意見から、ミニトマトを共販してはどうかと提案。その結果、市場への安定供給が出来るようになり市場の平均単価が向上（前年対比112%）し、担い手の意欲向上にもつながった活動が評価されました。



いわみ中央

絆づくりの大会

『JAふれあいの集い2018』

JAしまねいわみ中央地区本部は、「JAふれあいの集い2018」を開催しました。「協同の心で地域活性化」をテーマに、来賓の江津市長、県議会議員をはじめ組合員や地域住民利用者、JA女性部、JA役職員ら600人が集まり盛大なイベントとなりました。今年は、会場を管内の江津市総合市民センターに移しての開催となりました。

集いでは、みどりを守る小学生作文コンクール入賞作品発表や女性部の家の光記事活用体験発表のほか、立正大学経済学部の北原克宣教授に「JA自己改革と女性の役割」と題して講演していただき来場者も真剣に聞き入っていました。

後半は、オープニングに江津の青壮年会 傘踊り隊による傘踊りでスタート。JA女性部とJA職員によるふれあいステージでは、会場が一緒になって盛り上がりました。また、会場ロビーに設営された女性部員の手作り手芸品や加工品販売コーナー・JA特産品販売コーナーではブドウや梨が特別価格で販売され賑わいました。



基本方針

1

営業に関する ご報告

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

「地域の活性化」への貢献

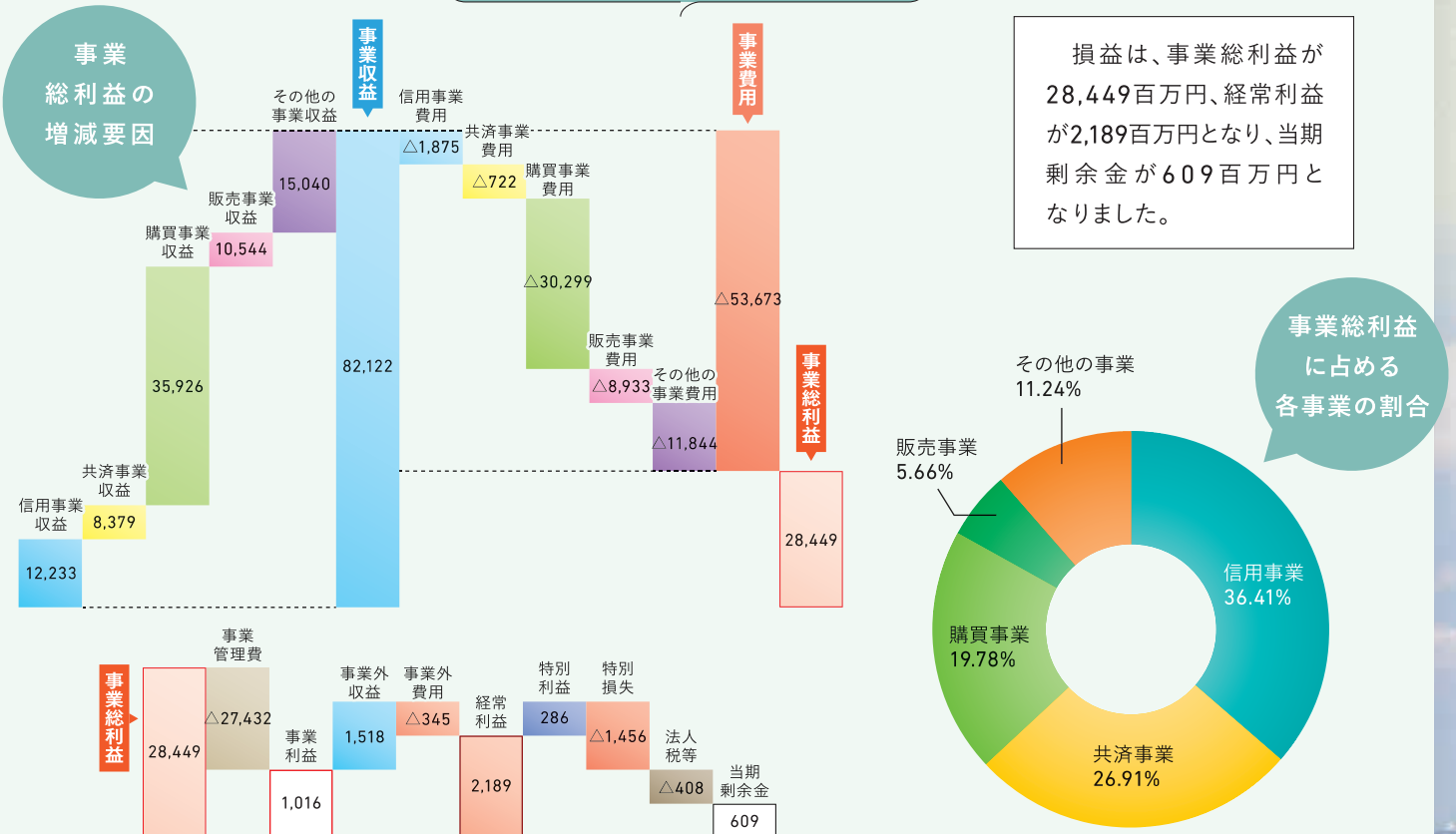
総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

健全経営の為の取り組み

「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。



損益の状況（平成29年度）



2

事業別業況 (平成29年度)

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,853百万円となりました。



販売事業

米の買取制度を29年産米も継続実施し、また畜産等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は38,129百万円となりました。

生活関連事業

購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,162百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,541,460百万円、年金共済保有高が20,802百万円となりました。



信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高984,693百万円、貸出金が期末残高299,671百万円となりました。



農業振興支援事業での持続的営農への支援

3

農業振興活動



平成29年度は、4億円の予算化を行い担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、島根県農業の基幹である和牛子牛の増頭対策では、繁殖母牛の導入において199頭の増頭支援、デラウェアでは優良系統への改植による持続的産地への支援、担い手の複合型営農形態の促進に向けた園芸品目の普及対策を実施しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

4

地域密着型 金融への 取り組み

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。



2018 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JAしまね

PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	226億円
総資産	1兆926億円
単体自己資本比率	14.93%
組合員数	231,666人
役員数	73人
職員数	3,609人
事務所数	201



タテのカギ

- ①馬に乗る人のこと
- ③マガモを改良して作られました
- ⑤お金を借りると付くことも
- ⑥日本海軍が造った世界最大の戦艦
- ⑦軍配を持って土俵に上がりませす
- ⑨神社で神事に奉仕する女性
- ⑪泡立ててメレンゲを作ります
- ⑬田畑を耕す道具の一つ
- ⑮首都はハノイ。米の生産が盛んな国です
- ⑰——あれば憂いなし
- ⑲野球でランナーが滑り込む所
- ⑳カトリックでは神父、プロテスタントなら
- ㉑リレーの選手がつかなく物

ヨコのカギ

- ①ギーッチョンと鳴く秋の虫
- ②図書館で専門的な仕事をします
- ③海に潜って貝などをとる職業
- ④目のこと。つぶらな——
- ⑥ゆらゆらとバランスを取る玩具。長い腕を持つ人の形をしています
- ⑧子(ね)と寅(とら)の間
- ⑩警察官や消防士、裁判官はこれ
- ⑫黄門様のお膝元です
- ⑭決まった時間に寝起きする、——正しい生活
- ⑯渦巻き模様が付けられた練り物
- ⑱二十世紀、新高などの品種があります

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	7		13		20
2				14	17	
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒692-0014 安来市飯島町1205-1
JAしまね やすぎ地区本部 総務課「クイズ」係
平成30年10月5日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「コスモス」

ス	キ	マ	イ	ク
イ	ネ	カ	リ	モ
ツ		イ	ン	ロ
チ	カ	ギ	ト	キ
	イ	シ	ヨ	ク
ネ	コ	ウ	ラ	ナイ
ギ	ン	ザ	ゲ	スト

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

腸の調子を整える

いくつチェックが付きましたか？生活習慣をちよつと見直して健康な胃腸に一步近づきましょう。胃腸がすぐれない方は、改善できる方法をいくつかあげますので、参考してみてください。

1. **お腹を温める。**
湯たんぽ、ホットカイロ、蒸気が出る温熱シートなどでお腹を直接温める。
2. **しょうががくす湯**
お腹をこわした直後は、消化によく湯がおすすです。くずには整腸作用や体を温める作用があります。さらにしょうがを加えると温め効果倍増!!冷たい食べ物や飲み物で冷えきった体を、芯から温めてくれます。
3. **はちみつ緑茶**
はちみつと緑茶の意外な組み合わせ!!緑茶に含まれるタンニンには、便を硬くする働きがあります。そこへ整腸作用のあるはちみつを加えると下痢止めに効果的です。

- 食事時間が不規則
- 睡眠不足
- 夜食を摂る
- 運動習慣が無い
- 朝食を抜く
- ストレスが多い(多忙、人間関係の悩み、など)
- 野菜、果物をあまり摂らない
- 脂っこいものをよく食べる
- 喫煙習慣がある

☑生活習慣をチェック

今は「お腹に特に悩みは無い」という人も、以下の項目にチェックが多い場合は、要注意です。

☑快腸度チェック

- 排便の無い日が2日以上続くことがある。
- 排便時間にばらつきがある。
- 便がゆるいことが多い。
- 1回の排便量が少ない。
- 吹き出物が出たり、肌の調子がすぐれない。

厳しい暑さも終盤にさしかかり、そろそろ、食卓の上には色とりどりに溢れた食べ物や並ぶ季節になります。美味しいものは楽しみながらいただきたいですよ。暑さへたれてしまった胃腸を元気にして、秋の味覚を楽しみましょう。

そこで、まずは、あなたの胃腸の調子をチェックしてみよう。チェックの付く項目が多い人は、腸の調子がすぐれない状態です。

安来市種畜共進会開催

安来農林振興協議会は8月10日、利弘町で島根中央子牛共進会と島根県種畜共進会の予選を兼ねた安来市種畜共進会を開催、市内の農家から前年を上回る計37頭の肉用種牛・乳牛種牛が3部門に出場しました。

審査員4人が出場牛の体積や均称、骨格などを審査し、各部門のグランドチャンピオンと、島根中央子牛共進会へ6頭、島根県種畜共進会に4頭の出品を決定しました。島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部矢田恭一郎部長は「全体的に発育が良く、伸びや深みがありました」と総評されました。同協議会伊藤精一副会長は「前年を上回る出品牛の数に、生産者の畜産に対する思いや活気を感じました。全日本ホルスタイン共進会、全国和牛能力共進会をはじめとする各共進会は重要な畜産振興の取り組みであり恒常的な支援が出来る体制を確立するため、安来市全共・全ホル出品対策協議会をいち早く設立しました。これからも関係機関と連携して様々な支援を行ってまいります。」と話しました。審査結果は次の通り。



各部門 グランドチャンピオン



肉用種牛子牛の部

足立敦志
「みくにしげ」



肉用種牛の部

秦百一
「みらい」



乳用種牛未経産の部

松本雄司
「申請中」

農業入門基礎研修秋コース開講

やすぎ担い手支援センターは8月21日、農業入門基礎研修の秋コースを開講しました。この研修は平成24年秋からスタートし、年2回、8月～1月の秋コースと3月～7月の春コースを行っており、秋コースには21人が参加しています。

開講式では、伊藤精一地区本部長が「研修修了後には新たな担い手や農業サポーターとして、地域の農業に携わってくれる人が増えると嬉しい」と挨拶しました。

研修は雲南地区本部の高橋英次職員を講師に、野菜栽培の基本や秋まき野菜に関する基礎知識について講義を行いました。その後ハウスに移動し、土づくりや畝たて、キャベツとブロッコリーの定植、ニンジン、白菜、レタスの播種作業などを行いました。参加者は「今まで自己流で栽培していたが、基本からわかりやすく学べるので次の講座も楽しみ」と話しました。



安来の梨！選果始まる



やすぎ梨生産部会による今年度の梨の選果が始まり、下坂田町の選果場で8月1日、生産者や関係者ら約60人が集まり

開場式を行いました。

同部会は29戸の農家が約11畝で梨を栽培しており、1日から「幸水」、24日からは「二十世紀」の選果も始まり、今シーズンは幸水5ト、二十世紀60トの出荷を計画しています。金山浩美部会長は「過去に例を見ないほど開花が早かったが、部会員皆様の経験と努力のおかげで、順調に成長し美味しく仕上がりました」と話しました。

また、選果場では小売りや進物イベントも行われ、多くの人で賑わいました。



JA職員『やすぎ月の輪まつり』に参加

やすぎ月の輪まつり実行委員会などが主催する『やすぎ月の輪まつり』の安来節踊りが8月16日に開催され、やすぎ地区本部から34人の職員が参加しました。

職員たちは本番に向けて練習を重ね、当日は揃いのハッピに身を包み、正調安来節の曲に合わせて会場を踊り歩きながらJAをPRしました。参加した職員は「JAとして地域のお祭りに参加することで、地域貢献にもつながれば嬉しい」と話しました。

JAでは、今後も地元イベントへの積極的な参加を通じて、地域の皆様との交流やJAへの理解促進を図っていきます。



直売所で盆花市開催！



やすぎ地区本部は8月11、12日の2日間、同地区本部管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜彩館で「盆

花市」を開催しました。「盆花市」は毎年開催している直売所の一大イベントであり、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃えました。

各店舗では、定番である菊やしぶきをはじめ、ケイトウやトルコギキョウなど多くの種類の花木が店先に並び、開店と同時に大勢の買い物客で賑わいました。来店客は「きれいな花がたくさんあっていい」「近くに直売所があって助かっている」と話されました。



鮎 初めて 食べました〜♪



夏休みの思い出作り

やすぎ地区本部では夏休みの期間中、安来市の放課後児童クラブと一緒に夏休み活動支援を毎年行っています。この活動は、くらしの活動の一環として田植えや生きもの調査、料理、工作などを行い、児童たちの豊かな感性を育てることを目的とした活動で、同地区本部はこうした活動に力を入れています。

7月31日には、あかえっ子クラブの児童31人と一緒に同市西比田町で自然体験を行いました。児童たちは川に入って放流した鮎を捕まえたり、水遊びをしたりして自然を満喫しました。捕った鮎は、同JAの山根盛治副組合長が塩焼きにして児童たちに振る舞いました。

また、8月22日にはあらしまっこクラブの児童たち28人と、8月23日には飯梨こどもクラブの児童たち17人と一緒に、牛乳パックを活用した飛び出すお化けの工作を作りました。この工作は、家の光雑誌のちゃぐりん8月号に掲載されており、児童たちはJA職員から作り方を教わりながら、それぞれ個性あふれる作品を作りました。

児童たちは「鮎を一匹捕まえることができて楽しかったです」「難しかったけど、作っていて楽しかった」と感想を話しました。

ビックリお化け
完成!!



安来の元気な子ども達を紹介します!

MIRAI KIDS

未来の主演たち

ひな
岩崎陽菜ちゃん(3さい)
れな
怜菜ちゃん(8カ月)



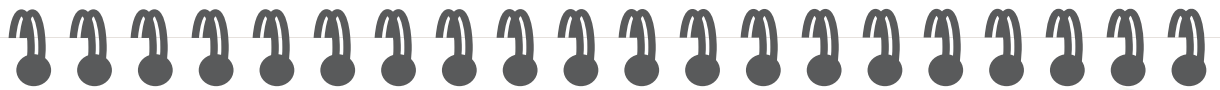
明るい性格の陽菜ちゃんは、保育園でムードメーカー的な存在の女の子。また、何でも挑戦したがる性格で、この前乗馬体験をしたんだって。最近では、数字を言えたり、1人でキックボードに乗れたりできるようになったみたい。あと、お父さんの足の裏に乗って遊ぶ飛行機にハマっているんだって。

来年お姉ちゃんと一緒に保育園に通う予定の怜菜ちゃんは、寂しがり屋な女の子。1人でいるとすぐに泣いちゃうけど、家族が近くにいると安心するみたい。かき氷が最近お気に入り、よく氷を食べているみたい。今はハイハイの練習中で、後ろには下がるようになったけど、まだ前には進めないみたい。

お出かけする際には、怜菜ちゃんが乗っているベビーカーをよく陽菜ちゃんが押してくれる仲よし姉妹です。

～お父さんお母さんより～

「いつも元気で明るいお姉ちゃん、最近は何んでも自分でやってみたくとチャレンジしています。妹のこともすごくお世話をしてくれるので、母は助かっています。まだ甘えたいのに我慢して怜菜ちゃん泣いてるよと教えてくれます。下の子もお姉ちゃん大好きなので、早く歩けるようになって一緒に遊べるといいね。」



家の光料理倶楽部掲示板



8月29日開催

◎講師：栄養士 飯塚生美子氏

M E N U

- ★リゾート風竹わーライス (176p)
- ★つライ! パン♪ふぁみーとス♪パゲッティー (171p)
- ★しモンゼリー (183p)
- ★茄子入!カンパニー和風煮込み (58p)
- ★夏野菜と豆腐の冷やし汁 (206p)

※料理は家の光9月号を参考に、先生のオリジナルレシピです。



完成品



アンケートより □□□□□□□□□□□□□□□□

- ◆今日はCafe風のメニューでとてもおいしく、ボリュームもある女子会ランチでした。
- ◆ハンバーグに茄子を入れても気にならなくて、茄子嫌いな人でも食べられそうです。

お問い合わせ・申込み先
JAしまねやすぎ地区本部 総合企画課 (担当: 宇山)
電話: 0854-22-3751



福祉課だより

JA福祉課の出前講座

8月23日から25日まで、介護予防拠点施設ふれあいプラザで「第27回安来市老人クラブ連合会安来支部文化祭」が開催され、認知症についての出前講座をさせていただきました。

わたし達はどんな地域に住んでいるのでしょうか・・・認知症の方の増大が憂慮される社会状況下、たとえ認知症になっても、住み慣れた我が家（地域）で生活し続けることのできる優しい地域でありたいものです。そんな想いをもち、5人の職員は寸劇を交えながら認知症の方の対応方法などを紹介させていただきました。

今後も健康長寿を目指していただけるよう、地域へ出掛けさせていただきます。



寸劇による認知症の方の対応



「笑う」「声を出す」「運動する」ことが大切!

お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター
TEL: 23-8230 FAX: 23-8231



女子大レポート

米粉ピザ作り 講座

講師

JA職員



今回の女子大は、米粉と豆腐を使用したピザ作りを行いました。開催日が夏休み期間ということもあり、学生のお子様方も参加され、賑やかな講座となりました。皆さんは一生懸命生地をこね、安来産の夏野菜を中心に美味しくそうに盛りつけられました。また焼いている間、JA職員による紙芝居があり、盛り上がりました。焼けた米粉ピザはとても熱く、皆さんフウフウしながら美味しく食べられました。

学生感想

- ◆ 米粉はアレルギーの人にも安心して食べれるし良いですね。
- ◆ 野菜があまり好きでない子供が、ピザだと食べてくれるのでうれしかったです。
- ◆ 夏休みなので、子供と一緒に参加できて良かったです。

9月の一番商品



《対象期間》平成30年10月末まで

JAしまね銘柄集約の取組みでJAグループの品質を維持しつつ価格を控えた肥料です。

化成肥料



チッソ リンサン カリ
14-14-14

供給 JAグループ



容量: 20kg袋

- ①水稲・麦・野菜の大規模栽培に最適
- ②作業性能の高い機械施肥対応
- ③大量生産等製造コスト低減で低価格を実現



野菜栽培にもお薦め!

超特価

1,250円

~~価格1,400円~~

(消費税込み)

園芸作物の基肥に最適! 化成肥料の施用方法

5kg/aを施用する作物	10kg/aを施用する作物
大根・ほうれん草・小松菜・水菜・葉ねぎ・じゃがいも・かぼちゃ	きゅうり・ピーマン・ナス・人参・ごぼう・さといも・にんにく・たまねぎ・キャベツ・白菜・レタス・ブロッコリー・春菊・ニラ・スイートコーン

※播種、定植の7日前に施用し土壌とよく混和します。
 ※施肥量は目安ですので、詳しくは最寄りのJAへお問い合わせ下さい。
 ※追肥に使用される場合は、必要に応じ1a当たり3~5kgご使用下さい。

お問い合わせ・お申し込みは、

やすぎ地区本部 各支店経済課 または 資材課(TEL:28-7800)まで

平成30年産米 仮単価一覧表

島根県農業協同組合 やすぎ地区本部

★JAしまね米

(1) うるち玄米 30kg紙袋、円

品 種	1等	2等	3等
コシヒカリ(上)	6,450	-	-
コシヒカリ(基準)	6,350	6,000	5,500
きぬむすめ(上)	6,300	-	-
きぬむすめ(基準)	6,200	5,850	5,350
ヒノヒカリ	6,200	5,850	5,350
ハナエチゼン	6,000	5,650	5,150
つや姫(特別栽培米)上	6,650	-	-
つや姫(特別栽培米)	6,550	6,200	-
にこまる	6,300	5,950	5,350

*コシヒカリ(上)・きぬむすめ(上)・つや姫(上)1等は、ふるい目1.9mmが対象
 *特別栽培米(減農薬コシヒカリ)は、1~2等400円加算
 *はで干し(コシヒカリ・きぬむすめ)は、水分13.9~15.5%で(基準)に対して1~2等250円加算かつふるい目1.9mmの1等は100円加算。
 *MOA(コシヒカリ・きぬむすめ)は、ふるい目1.9mmで1等は(基準)に対して100円加算。

(2) 低水分・高水分米 30kg紙袋、円

品 種	1等	2等
コシヒカリ	6,100	5,750
きぬむすめ	5,950	5,600

※低水分米とは、13.8%以下のコシヒカリ・きぬむすめ
 ※高水分米とは、15.6%~16.0%のコシヒカリ・きぬむすめ

★一般米

(1) うるち玄米 30kg紙袋、円

品 種	1等	2等	3等
コシヒカリ	6,050	5,700	5,200
きぬむすめ	5,900	5,550	5,050
ヒノヒカリ	5,900	5,550	5,050
ハナエチゼン	5,700	5,350	4,850
にこまる	5,900	5,550	5,050
その他	5,500	5,150	4,650



※一般米における品質仕分け(1・2等)は廃止する

(2) 醸造好適米 30kg紙袋、円

品 種	特上	特等	1等	2等	3等
五百万石	7,800	7,700	7,500	6,950	6,450
神の舞	7,800	7,700	7,500	6,950	6,450
佐香錦	8,150	8,050	7,600	6,950	6,450

(3) もち米 30kg紙袋、円

品 種	1等	2等	3等
ヒメノモチ	6,750	6,250	5,750
ヤシロモチ	6,750	6,250	5,750
ココノエモチ	6,750	6,250	5,750
ミコトモチ	6,750	6,250	5,750
その他	6,750	6,250	5,750



※出荷契約数量を基本とし、出荷契約がない方は、一般米扱いとする。



ガス川柳 大募集!!

テーマはガス!!



平素はJALまねのLPガスをご利用いただき、ありがとうございます。
 日頃のご愛顧に感謝を込めて、ガス川柳(豪華景品付)を募集します。日常生活でのガスの便利さや、お祭り・屋台での楽しい思い出など、LPガスにまつわるさまざまなエピソードを川柳という17文字に込めてご応募ください。

昨年度
入賞作品例

ガスがまの
新米おどる
こがね色

- 応募方法: 川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を官製ハガキにご記入のうえ、応募してください。
 (注)発表の際、ペンネームを希望される方は、必ずペンネームを記入してください。

- 送り先: 〒699-0631 出雲市斐川町直江5030番地 JALしまね経済部「川柳募集係」まで
- 応募規定: 5・7・5の17文字の川柳で、応募はお一人様3点までとします。
- 各賞(賞品)

- ◇最優秀賞 3本 ガスファンヒーター&島根の特産品詰合せ
- ◇優秀賞 12本 ガスファンヒーター
- ◇佳作 30本 島根の特産品
 注1) 当選の権利は譲渡できません。
 注2) LPガスファンヒーターは取付工事・配管無料。

- 募集締切: 平成30年10月31日(水)当日消印有効
- 選考会: JALしまね営農経済本店経済部にて
- 各賞発表: 受賞作品とともに1月号の情報誌に掲載します。

皆さまのご応募、お待ちしております!!

ガスファンヒーター&
島根県の特産品詰合せ

最優秀賞



※賞品の写真はイメージです。実物と異なる場合、または商品が変更となる場合がございますのでご容赦ください。

【お問合せ先】 くにびき生活燃料センター ☎0852-36-9270 やすぎ生活燃料課 ☎0854-28-7200
 雲南LPガス課 ☎0854-42-9131 隠岐どうぜん経済部 ☎08514-7-8005 出雲ガスセンター ☎0853-28-1234
 斐川ガスセンター ☎0853-72-3304 島根おおちLPGセンター ☎0855-95-0362

米生産者の皆さま 水田作付意向調査にご協力を!

島根県農業再生協議会がお示しする「平成31年産米の生産数量の目安」を算定するため、各地域農業再生協議会（市町村・JA等で構成）が県内の米生産者の皆さまを対象に「水田作付意向調査」を実施しています。

お手元に調査表が届いていましたら、ご記入の上、提出をお願いします。

「米の生産数量の目安」とは

国による「米の生産数量目標」の配分が行われなくなったことに伴い、需要に応じた米を作るため全国の需要見通しを踏まえ、市町毎に参考としてお示ししているのが「米の生産数量の目安」です。

調査内容：米生産者の皆さまの31年産米の作付（出荷・販売）見込数量

調査時期：概ね8月下旬～10月頃。調査の実施期間は、管轄されている地域農業再生協議会により異なります。

回答期限：各地域農業再生協議会から示されている期限までに提出してください。

※回答内容や調査方法についてご不明な点があれば、各地域農業再生協議会へお問合せください。

調査への御協力をお願いします

皆さまからのご回答は、「米の生産数量の目安」の算定のほか、県や各市町村で取り組んでいる売り先を確保した米づくりの推進に活用していきます。

（お問い合わせ）

島根県農業再生協議会（事務局：農産園芸課）

TEL：0852-22-5129



この度、8月末を以って定年退職いたしました。在職中は、公私ともに温かいご指導とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。ここに謹んで厚くお礼申し上げます。地域の皆様のご健勝とJAしまねの益々のご発展を心からお祈り申し上げます。



稲田 巧

この度、8月末を以って定年退職いたしました。在職中は公私ともに心温まるご指導ご厚情をたまり心より感謝し厚くお礼申し上げます。組合員及び地域の皆様の今後益々のご健勝とJAしまねやすぎ地区本部の更なるご発展を心からお祈りいたします。



新田 徹

定年退職ご挨拶

人事異動

◎異動（平成30年9月1日付）（ ）内は旧部署

▼本店生産資材部次長兼資材課長・永澤勇人（伯太支店長）▼伯太支店長・内田将志（本店営農対策部営農事務課長）▼営農経済部農業機械課付島根県JA農機協同事業体出向・渡部真澄（営農経済部畜産課）▼米飯加工センター所長・新田徹（定年再雇用）▼営農経済部農業機械課付島根県JA農機協同事業体出向・稲田巧（定年再雇用）▼金融共済部安来市役所出張所・小笹黎子（金融共済部資金課）▼営農経済部畜産課・小林恵（営農経済部農業機械課付島根県JA農機協同事業体出向）

◎退職（平成30年8月31日付）

▼新田徹▼稲田巧▼稲田千寿子▼湯浅英子▼河村愛

10月の外務日は
17日(水)・18日(木)
担当職員がお伺いします。

税務相談会日程

- 広瀬支店 9月21日(金)10時～12時
- 安来東支店 10月2日(火)10時～12時
- 伯太支店 10月2日(火)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 10月15日(月)10時～12時

年金相談会日程

● 11月26日(月) 9:00～14:00 (安来南支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。
最寄りの支店または資金課（22-3752）までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ●年金手帳及び年金番号通知書（ご本人・配偶者）
- 年金証書（ご本人・配偶者）●年金請求書 ●認印 ●年金加入記録のお知らせ等



市況動向

島根中央子牛市場
(単位：円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	707,130	799,740	576,180	697,545	704,619
	頭数	4	2	2	8	88
	最高価格	862,920	927,720	589,680	927,720	1,294,920
又キ	平均価格	751,287	653,400	783,135	745,341	790,881
	頭数	11	4	8	23	130
	最高価格	952,560	940,680	908,280	952,560	1,022,760
総平均価格	739,512	702,180	741,744	733,006	755,975	
合計頭数	15	6	10	31	218 (0)	

() 内は頭数

8月子牛市場県外移出頭数

	兵庫県	滋賀県	香川県	徳島県	佐賀県	鳥取県	山口県	その他	合計	県外移出率
雌	15	8	8	10	7	6	0	12	66	68.04%
去	11	5	5	1	2	2	8	8	42	32.56%
合計	26	13	13	11	9	8	8	20	108	47.78%

全国、本県ともに“小幅高”の取引

平成30年8月の全国主要子牛平均価格（全農・畜産生産部8月27日現在速報）は雌711千円（前月比101%）、去勢826千円（前月比102%）、計777千円（前月比102%）で小幅高の取引となっています。

本県8月の子牛市場は中央市場のみの開設で、215頭の上場があり、平均価格は、756千円（前回は17千円高）で小幅高の取引となりました。

8月の枝肉相場は、盆前までの時期は強含むことも想定されましたが、月間では保合相場で推移しました。

今月上場牛はしっかり管理された牛も見受けられましたが、猛暑の影響もあり、体積、幅、ハリのばらつきが多く見られました。

たくさん育て、 たくさん食べよう タマネギ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

切ると出る涙の原因は硫化アリル、ビタミンB1の吸収を助けて新陳代謝を活発にし、コレステロールの代謝を活発にし、血液をサラサラにして動脈硬化や高血圧、糖尿病を予防する効果もあります。近年明らかになったところによると、野菜の中では最も細菌病、大腸菌などを寄せ付けず、安全性では極めて優れていることが裏付けされています。

タマネギは病害に強く、毎年同じ畑でも作れるので、自家菜園の作付けにとっても大変有利です。貯蔵力もあり、使い道も幅広いので、たくさん育てることをお勧めします。

家庭菜園では、通常晩秋に出回る苗を買い求めて育てる場合が多いのですが、ご承知のようにタマネギは黄、白、赤の品種があり、収穫期の違う極早生、早生、中生、晩生と特徴のある数々の品種があります。

これらを上手に育て楽しむには、自分で好みの品種を選び、種子から育てる必要があります。特に直売など販売を目的とする場合は、苗代の負担も大きくなってしまいます。

種まきの適期は、極早生8月下旬～9月上旬、早生9月上旬、中生9月中旬、晩生は9月下旬です。適期まきはとても重要なことなので、地元のJAや種苗専門店、栽培農家などに聞いて決めることが大切です。特に中晩生の品種を早くまき過ぎると、越冬するまでに大きく育ち過ぎ、寒気に感じ過ぎてとう立ちするものが多く、失敗します。

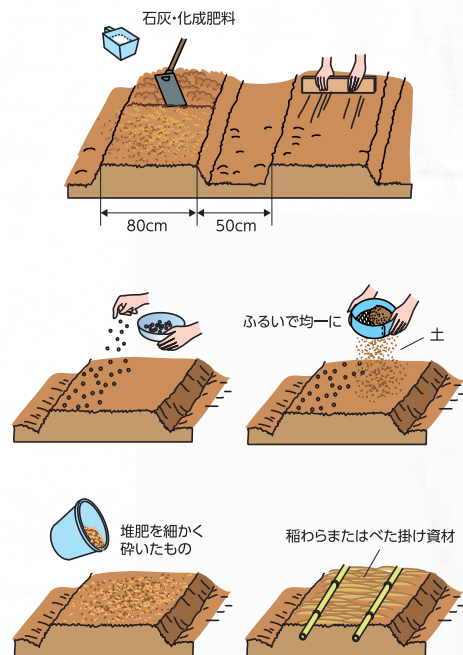
苗を上手に育てるには、苗床の前作を早めに片付け、種まきの20日以上前に完熟堆肥と石灰、化成肥料をよく耕やしておきます。トマト、ナスなどの強い根が残る野菜の跡地は避けてください。

種まき前にベッドを作り、図のように丁寧にベッドの表土をならしてから約1～2cm間隔ぐらいに均一に種をまきます。そしてふるいで2～3mmほどの厚さに、満遍なく覆土し、板切れなどで軽く表土をたたいて鎮

押し、その後ジョウロでたっぷり灌水（かんすい）します。

その上に細かく砕いた完熟堆肥をごく薄く覆い、その後苗床全面を稲わらやべた掛け資材を二重に覆い、残暑や乾燥、台風や強風の被害から守ります。

種まき後5～7日で発芽し苗が伸び始めたら、これらの被覆資材は取り除き、ジョウロでたっぷり灌水して生育を促します。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎保険料はいつでも変更できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、
所得税や住民税等の節税になります。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として
生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、
死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者で青色申告者等
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または
農業者年金基金にお問い合わせください。

鳥根県立農林大学校 入学試験実施のお知らせ

募集人員

- ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 30名
- ②林業科 / 10名

試験日

学校長推薦・自己推薦 / 平成30年10月24日(水)

一般前期 / 平成30年12月5日(水)

一般後期 / 平成31年2月13日(水)

地域推薦 / 随時

※一般後期試験は実施しない場合があります。

試験会場

鳥根県立農林大学校(大田市)

詳しくは

農林大学校のホームページ、
または農林大学校(☎0854-85-7012)まで。



島根産まれの食材レシピ 《しまねうれしぴ》

料理研究家 土井小百合

ラトゥエイユ



夏野菜をたっぷり使った、蒸し煮です。いろいろな野菜の味が混ざり合い旨味たっぷりです。温かくても冷めてもおいしい。そのままでも十分おいしいけど、

- ・肉や魚の付け合わせ
- ・豆腐の上に乗せる
- ・バケツの上に乗せる
- ・パスタとあえてもおいしいです

●材料 (4人分)

トマト	2ケ	パプリカ	1/2ケ
なす	2本	にんにく	2かけ
ズッキーニ	1本	オリーブ油	大さじ2
玉ねぎ	1ケ	塩	小さじ1/2弱
ピーマン	1/2ケ	コショウ	少々

●作り方

- ① トマトは湯むきし、へた、種を取り乱切りにする。
- ② なす、ズッキーニを乱切りか輪切りにする。
- ③ 玉ねぎ、ピーマンを1.5cmの角切りにする。
- ④ にんにくは芽を取り軽くつぶす。
- ⑤ 鍋にオリーブ油、にんにくを入れ香りを出す。
- ⑥ 野菜を入れ、塩、コショウし、ふたをして蒸し煮にする。

JAしまねびより 表紙絵原画展



【野々村直通先生】

開催日：平成30年10月11日[木]～10月16日[火]

開催時間：9:30～18:30 ※最終日は17:00まで

場所：ラピタ本店1階センターコート (出雲市今市町)

内容：

- JAしまねびより表紙絵展示
- にが絵 / 1名様1枚：2,000円 (税込)

※当日の混雑状況によりお断りする場合があります。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙はローソク島とフェリーしらしまです。島後島の北西沖の海面上から高さ20mほど突き出したローソク島は、奇岩として人気の観光スポットです。見どころは夕景で、夕日と重なり本物の蠟燭のように見える奇跡の瞬間を求め、県内外から多くの観光客がフェリーで島を訪れます。

編集後記

今月の地区本部トピックスは、子ども向けの夏休みイベントや職員の夏祭り参加など、夏の話が盛りだくさんになりました。今年は猛暑でしたが、県内の各地でそんな暑さを忘れるくらいの楽しい思い出が生まれたのではないのでしょうか。



【今月の表紙の原画】
 原画の全体は次のとおりです。